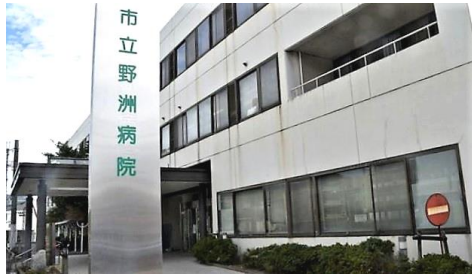


8月12日
臨時議会

病院基本計画修正業務の委託が可決されましたが…。 立地根拠示せず、民主的協議踏まず



市長は早期建設へ
市民と議会、医師会の
声を真摯に聞くべき

6月定例議会では、市長が提案する温水プール跡地の軟弱地盤について根拠ある対策が示されてい

6月定例市議会でも否決された新病院建設地を駅前から温水プール跡地に変更するための基本計画変更委託、市立病院に顧問と病院管理者を設置するなどの5議案が12日開催の臨時議会でも賛成多数で可決されました。

再度の提案なれどこれまでの市民の声も反映することなく推進ありき、は余りにも無責任

軟弱地盤で多額の予算投入の懸念や通院者の利便の疑問に答えず

6月定例議会での否決後、12日開催の臨時議会までに、市民懇談会や議会特別委員会が開催されました。しかし、この中でも軟弱地盤対策の検証が曖昧で根拠が極めて乏しく、地盤対策に多額の予算が必要になる懸念が。また、市民説明会や議会議論でも疑問や意見が寄せられていました。市民説

明会などでは「デマンドタクシーも検討のひとつ」としながら、議会に示した「方策案」では、「今後、自動運転車の普及など期待できる」などと、非現実的発想の対策を示すなど真剣度が疑われるものです。とりわけ、市議会議論も含め、市民及び守山野洲医師会、肝心の市民病院との議論や合意形成も極めて不十分で、行政が最も大事にしなければならぬ、民主的な進め方になっていないことでもあります。

守山野洲
医師会が

医療の専門的見地から
野洲駅前の早期建設を提言

守山野洲医師会は、コロナのような感染症及び災害時ににおいて市民の命と健康を守るために、その中核となる市民病院の駅前早期建設は不可欠と一貫して表明しています。

市長は医療の専門的見地からの医師会の意見もまともに耳を傾けず進めています。総合体育館敷地を表明以来、医師会とも誠実な協議をしない市長の姿勢が問われています。

8月定例市議会は8月30日からです。
みなさんのご意見やご要望をお気軽にお寄せください

8月定例市議会は8月30日から開催されます。前年度の一般会計・特別会計の決算などが審議されます。一般質問は9月6日から8日まで。最終日は29日です。ご意見や暮らしの要望を下記までお寄せください。

意見広告

発行日：令和4年7月20日
発行所：守山野洲医師会の医師会実現する会
発行責任者：守山野洲医師会会長 小西 有造
守山地下鉄3-2-5 守山野洲医師会事務所内

野洲市民の健康・福祉を守るため、とにかく早く駅前に市立野洲病院を建築することが絶対に必要です!!

1 今の市立野洲病院で医療を続けてゆくことはできません。早期に病院を建てるには、駅前以外に考えられません。

2 市立病院だからこそ、野洲市民が必要とする治療を受けることができます。

コロナのような重大な感染症、大きな災害の発生時こそ、市立病院が中心となることで、必要な治療を行うことができます。今回のコロナ対策では院長をはじめ市立野洲病院の職員の皆さんの努力でワクチン接種、PCR検査、入院治療が円滑に行われることが出来ています。野洲市民の医療・福祉を守るために、中核となる市立病院は絶対に必要です。

守山野洲医師会の医師(実現する会)発行 7月20日

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2022年8月21日 No.443

市政や市議会へのご意見
ご要望をお寄せください

小菅康子 比江 668-3 (電話・FAX) 589-4971
工藤義明 小篠原 879 (電話・FAX) 588-1856
野並享子 北野 1-7-10 (電話・FAX) 587-0985
東郷正明 比江 864 (電話・FAX) 589-4158

日本共産党が見解を発表しましたのでお知らせします。

ホームページをご覧ください

共産党野洲市議団 検索